

# 図書館だより

ノートルダム学院小学校

## いざ、読書

2016.11.01 (火)

No.7



11月になりました。先月27日(木)～11月9日(水)まで「読書週間」です。この取り組みは、毎年全国の学校や図書館などでおこなわれていますが、その始まりは、世界的な視点で作られたようです。戦後の傷あとが残っていた昭和22年、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意の下に進められました。

今年の標語は、「いざ、読書」です。図書館には、やさしい本から高学年の人が好きなサスペンスの文庫本まで、幅広くそろえています。今年度、まだ図書館の本を手にとっていない人は、これを機にぜひ読んでみてはいかがでしょうか！

おねがい



図書館の本は、連日400冊～500冊貸し出されています。後期も皆さんが図書館に足を運び、熱心に本を読む姿を目にし、たいへんうれしく思っています。

本を借りるには代本板と児童カードが必要です。しかし、児童カードを忘れてくる人が多いですね。カードを図書館で借りることもできますが、できるだけ自分のものを持ってきてください。なくしてしまった人は、先生に言ってください。新しいカードを作ります。本を図書館の外に持っていく場合は、図書館のパソコンのバーコードリーダーに通さなければいけません。バーコードを通したら必ず『つぎ』をクリックしてください。

日本・世界の  
お話しカード

はなたれこぞうさまの  
不思議な力とは。

はなたれこぞうさま

昔あるところに、花売りの  
貧しいじいさんがいました。  
じいさんはいつも、売れ残る  
花を川のりゅう神さまにたむ  
けていました。するとある日、  
りゅう神さまのつかいが現れ、  
はなたれこぞうさまをよこし  
ました。「この子は何でも願  
いを聞いてくれるので、一日に

三回、えびなますを食べさせ  
てほしい」と言います。  
男の子を連れ帰ったじいさ  
んが、米やら着物やら金貨や  
らをこぞうさまにねだると、  
「ふんっ」と鼻を鳴らして何で  
も出してくれました。お金持  
ちになったじいさんは、日に  
三度のえびなますの支度が面  
倒になり、男の子に「りゅう  
神さまのところへお帰り」と  
言いました。すると、「あいよ  
といなくなり、同時にじいさ  
んは、またもとのぼろ家に逆  
もどりになりましたとき。

※「はなたれこぞうさま」は童話館出版、教育画劇、岩波書店などから出ています。

お話し まちがい探し

はなたれこぞうさま

神だなの下にすわせたはなたれこぞ  
うさまに、えびなますをおそなえし、欲  
しいものをお願いすると……。

下の2枚のイラストには5つのまちがい  
があります。いくつ見つけられるかな？

